

通常総会開催報告

3月5日(日)大宮図書館会議室にて、通常総会が開催されました。出席者は31名で、委任状提出者は91名でした。はじめに古橋顧問より挨拶がありました。

提案された議案については、すべて出席者全員の賛成のもとに可決されました。

今年は、理事と監事の改選の時期なっていますが、この件に関しても提案通り承認されました。新理事の話し合いにより、代表理事に小峯氏、副代表理事に牧野氏と若野氏が決まったことを報告します。



新理事・監事の紹介

新理事・監事の氏名につきましては、通常総会次第をご覧ください。

総会後、来賓の埼玉県環境部みどり自然課の永留副課長から、県内で問題になっているニホンジカについての話がありました。ニホンジカは秩父地域を中心に10年ほど前から増加し、スズタケなどの下層植生を食べ尽くしています。残っているものはアセ



みどり自然課永留副課長の挨拶

ビヤギボウシなど毒のある植物しかない状況の場所も多いようです。また、樹齢100年以上経ち、高値で取引されるヒノキやスギなどにも皮剥ぎの被害が出ているとのことでした。現在シカの生息数は推定1万頭とされ、年20%の増加率が見込まれているためにシカを減少させるには、最低でも年に3000頭は捕獲しなければいけないのですが、ハンターの高齢化もありなかなか計画通りに進まないようで、野生生物の頭数コントロールは非常に難しいことを感じました。また、鳥インフルエンザについても最新事情を伺うことができました。都内では陽性の鳥が出ましたが、埼玉県では幸いなことに、落鳥して検査に回った30例のすべてが陰性だったとのことでした。

NACS-Jを代表して出席いただいた小野寺さんは、昨年の講習会を担当された方なので、おなじみの方も多かったかと思います。



NACS-J市民活動推進室 小野寺氏の挨拶

ちょうど届いたばかりの会報「自然保護」を片手に、昨年NACS-Jが指導員の方を対象にアンケートを取った結果などを中心にお話をしていただきました。

お二人のご挨拶の後、時間にまだ余裕があったので、情報交換の時間を設けました。

はじめに、埼玉県で初めて発見された特定外来生物のナルトサワギクのことが話題になりました。今、まさしく県から受諾している外来生物調査の重要性が再確認された次第です。

他に、入間基地周辺にいろいろな動物が現れていること、アカミミガメのこと、和

光の湧水のことなどが報告されました。限られた時間ではありましたが、会員相互の交流を深めることができました。

今年は事務局の異動に伴い、いろいろと不慣れな点があったものの会計処理含め、年度末の処理を滞りなく済ませることができました。

2017 年度事業のこと

これまで同様に県内各地域での観察会活動を進めるとともに、埼玉県からの受諾事業（侵略的外来生物県民参加モニタリング調査）について取り組んでいきます。また、狭山茶の日本農業遺産に関わる申請に伴う生物多様性調査を受諾する予定です。

4月以降の主な予定は以下のとおりです。

自然公園エコハイク

安行・武南 4月14日（金）あらかわ通信198号に掲載済

黒山 5月6日（土）ユガテ～鎌北湖

奥武蔵 6月17日（土）芦ヶ久保

比企 10月28日（土）吉見

こども自然教室夜の観察会 7月29日（土）浦和秋ヶ瀬公園

こども自然教室昆虫採集 8月5日（土）トラスト2号地

外来植物研修会 5月21日（日）さいたま市 市民の森集合

外来植物研修会 9月 日（ ）所沢市内（予定）

菌類の世界 6月24日（土）自然学習センター

昆虫研修会 8月 日（ ）自然学習センター（予定）

地域の会の活動紹介 4月15日（土）東松山

6月18日（日）和光で予定

会費を納入しているか、ご確認ください

例年、この時期にご案内していますが、2016年分会費未納の方は「あらかわ通信」が6月号から止まります。今回、全員の方に会費納入用の郵便振替用紙を同封しました。

総会時にすでに納入された方も含まれていますが、ご了承ください。納入状況をご確認の上、対応をよろしくお願いいたします。

特に2016年度分が未納の方は、至急払い込みをお願いいたします。納入が5月を過ぎると会報が止まってしまいます。

会費の納入状況は、会報をお送りした封筒の宛名シールを御覧ください。

例①は【2016年分】が【2016年3月6日】に入金され、
【2017年分】が未納の状態です。

例②は【2016年分】と【2017年分】が未納の方です。

なお、入金処理などの事務手続きの関係で会報発行日の3週間位前までに払い込まれない場合は、宛名シールに納入記録が記されていないことがありますので、ご了承ください。

例① 住所・氏名

2016年度 20160306

2017年度

例② 住所・氏名

2016年度

2017年度